

貨物車交通への適用事例



中央復建コンサルタンツ(株) 南部 浩之

はじめに

平成17年度に阪神臨海地域において現状の交通状況の把握を目的として、貨物車を対象としたプローブパーソン調査を実施した。

そこで、この調査に関して以下の内容について報告する。

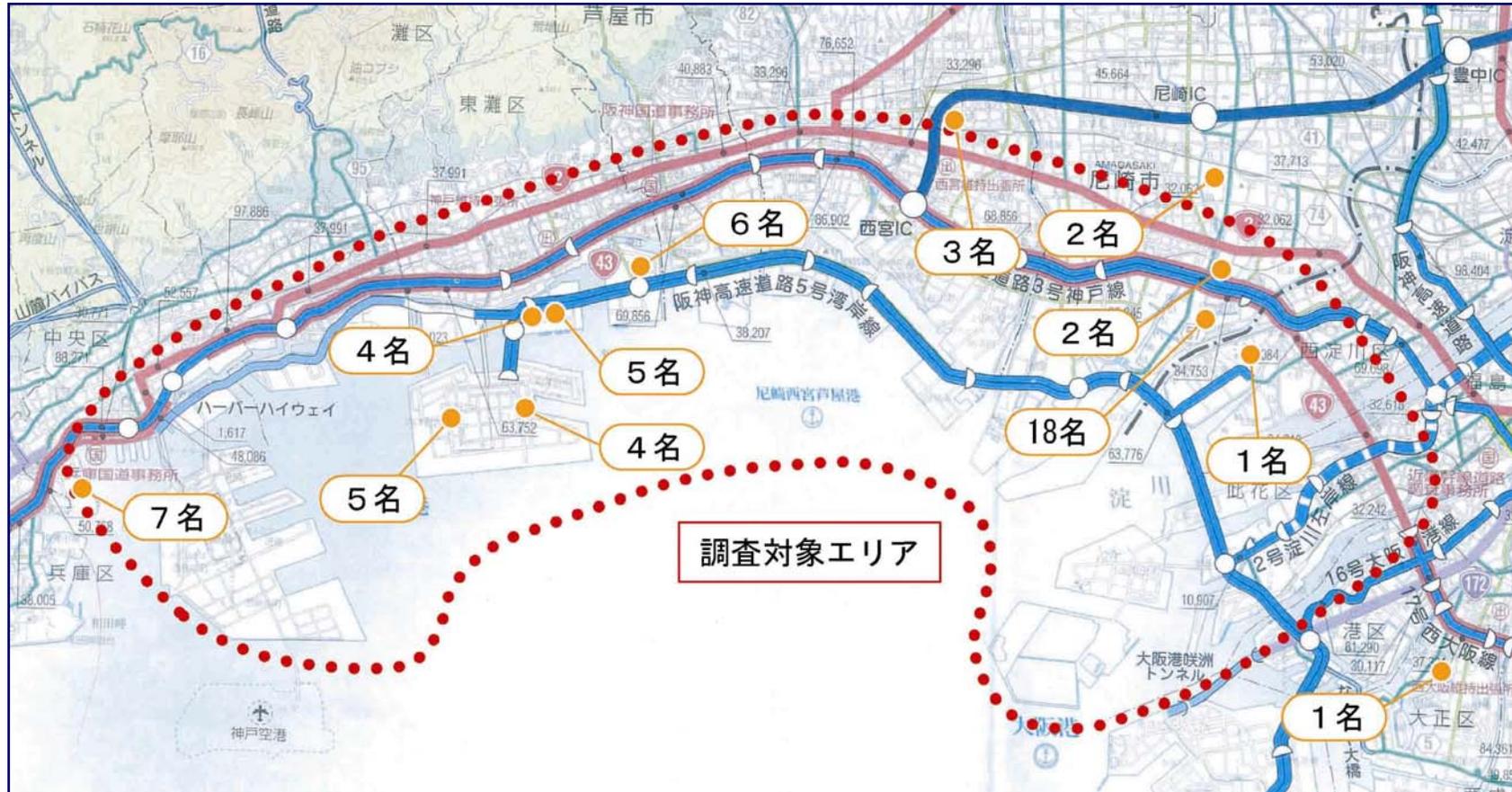
<報告内容>

- ・ 調査概要
- ・ 調査方法
- ・ 調査結果(サンプル数、分析例)
- ・ 貨物車を対象とした場合の特徴
- ・ 今後の課題

調査の概要

調査対象エリア	神戸市中央区・灘区・東灘区、 芦屋市、西宮市、尼崎市、 大阪市西淀川区・此花区・港区の臨海地域
調査期間	平成17年11月21日～12月16日の26日間
モニター対象	道路運送業者の <u>貨物車ドライバー</u> を対象 <設定理由> ・モニターとしての特定が可能 ・日常的に調査対象エリア内の道路を利用
モニター数	58名(12事業所)

調査対象エリアとモニターの分布



調査項目

■ GPS携帯電話

- ・ OD (出発地・到着地)
- ・ 移動中の位置データ
- ・ 位置データ取得時の時刻

} 自動取得

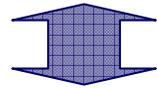
- ・ 移動目的

■ Webダイアリー

- ・ 高速利用の有無
- ・ 車両最大積載量
- ・ 経路選択理由
- ・ 経路選択の要因の箇所 (渋滞、事故) 等

モニター募集

他の事例では、ビラ配布、HP等で募集



トラック協会(兵庫県、大阪府)、
トラックターミナル(大阪府)等を通じて道路運送業者を紹介



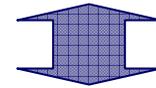
各事業所を訪問して調査趣旨、
調査方法等を説明



調査協力が得られた事業所からモニターを紹介

モニター説明

他の事例では、合同の説明会を数回実施

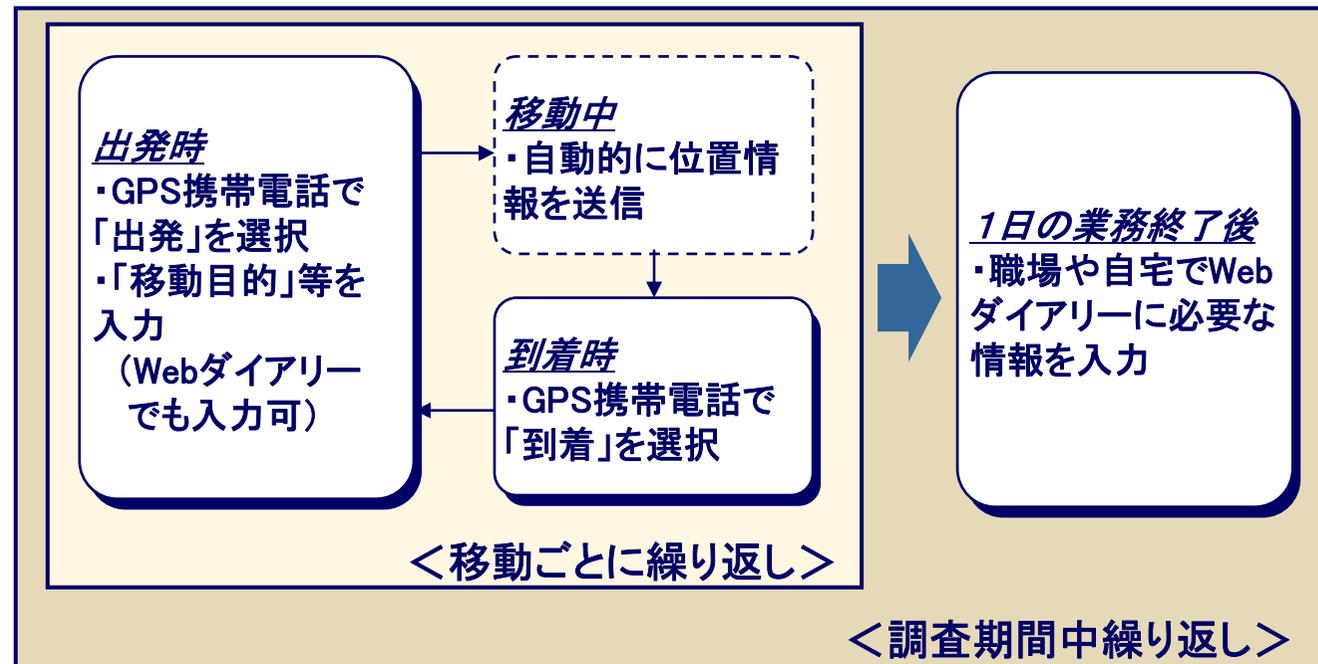


モニターの勤務時間帯が様々
モニターへの負担を軽減



各事業所の都合にあわせて
個別に訪問して説明

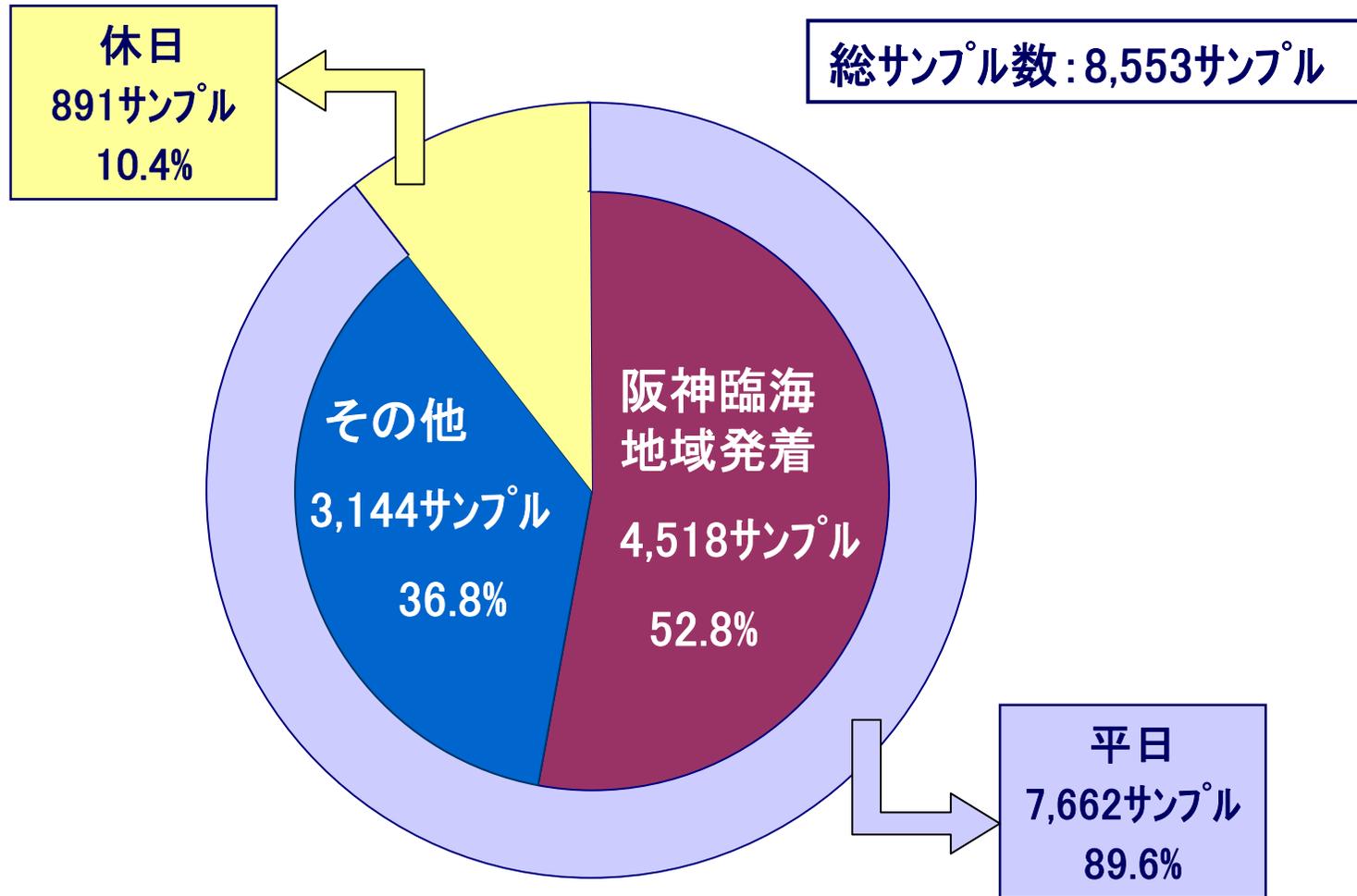
調査実施



<モニター管理>

- ・フリーダイアルでの電話対応
- ・Webダイアリーからのメール対応
- ・Webダイアリーの入力状況の確認、連絡 (担当窓口を介して)

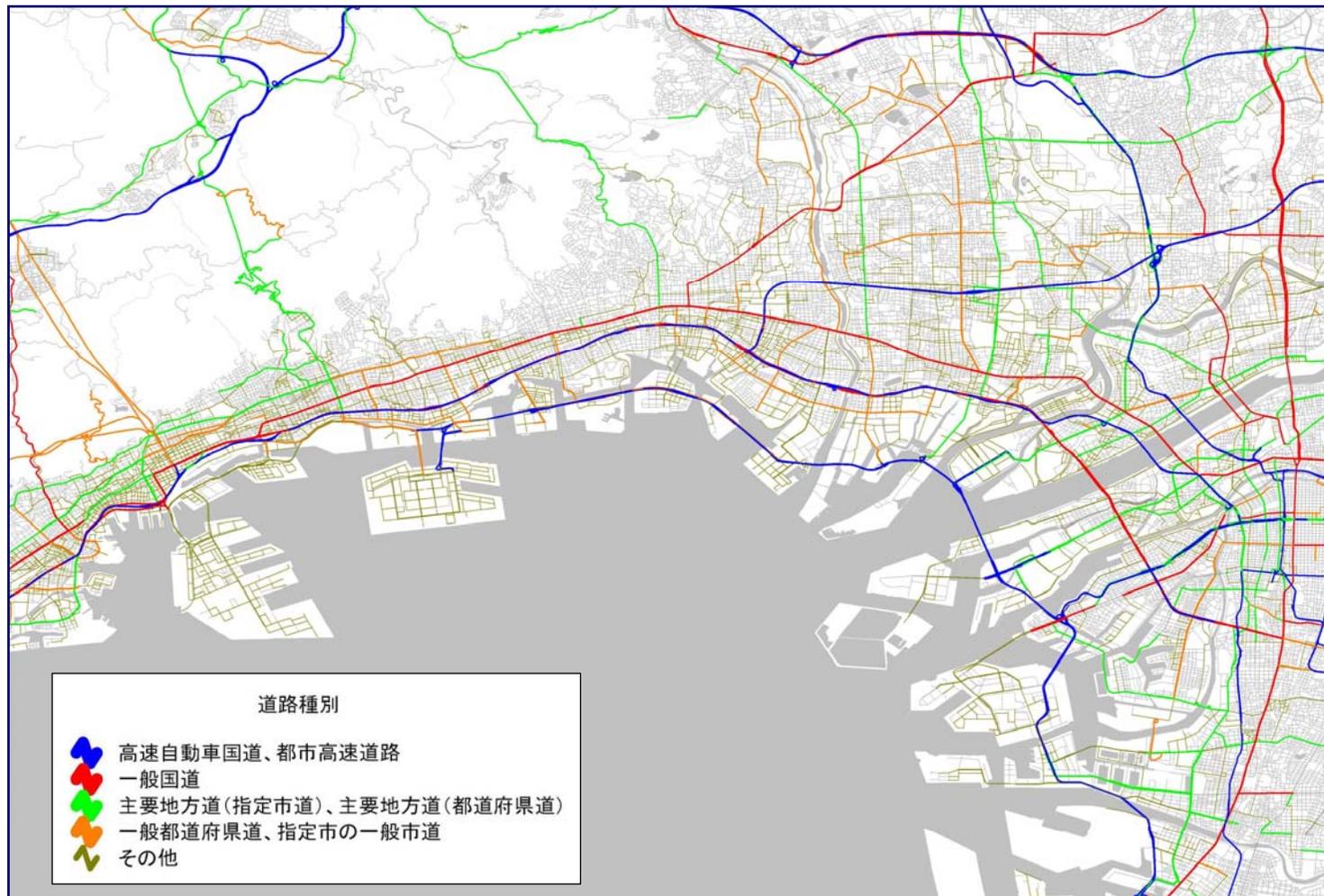
取得サンプル数



サンプル数の評価

	阪神臨海地域発着サンプル数
PP調査	4,518
センサスOD調査 (貨物車)	4,305
<u>PP調査</u> センサスOD調査	1.05

道路のカバー率



道路のカバー率

道路種別	道路延長 (km)	サンプル取得延長 (km)	カバー率 (%)
高速自動車国道	25.6	25.6	100
都市高速道路	191.9	173.1	90.2
一般国道	160.3	150.8	94.1
主要地方道 (都道府県道)	61.2	56.4	92.2
主要地方道 (指定市市道)	66.5	56.1	84.3
一般都道府県道	74.7	60.9	81.5
指定市の一般市道	47.6	44.6	93.8
総計	627.8	567.6	90.4

道路交通状況の網羅的な把握



主要なOD間の所要時間・時間損失の把握

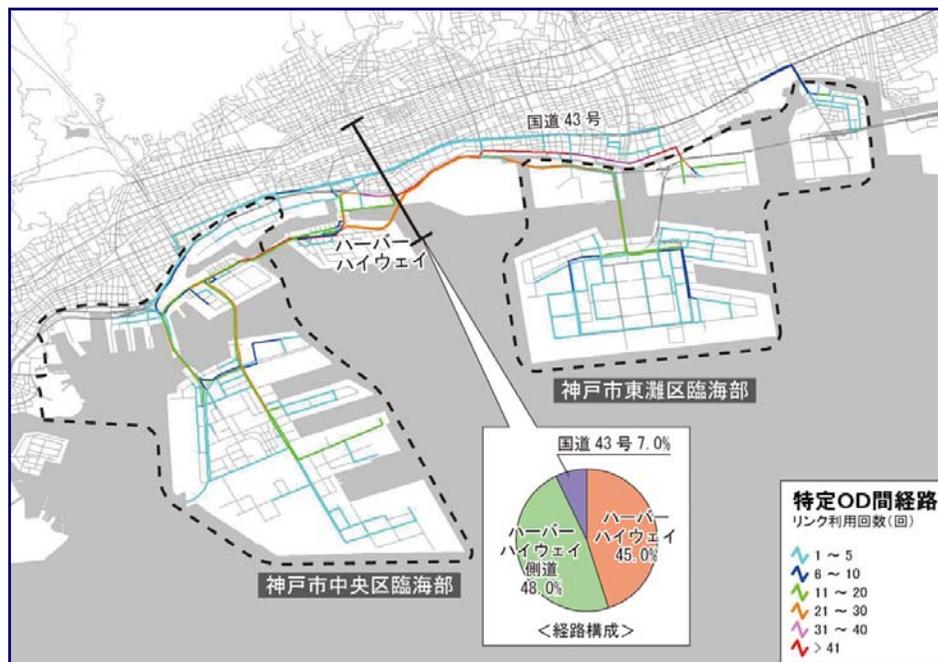


モニター走行区間の平均旅行速度



迂回等による時間的な損失状況を様々なOD間、経路で把握

OD領域別の道路利用実態の把握



阪神臨海地域に関連する
OD間流動に着目し、利用経
路を集計



道路の利用実態(経路分担)
を把握

特定道路の利用交通の把握

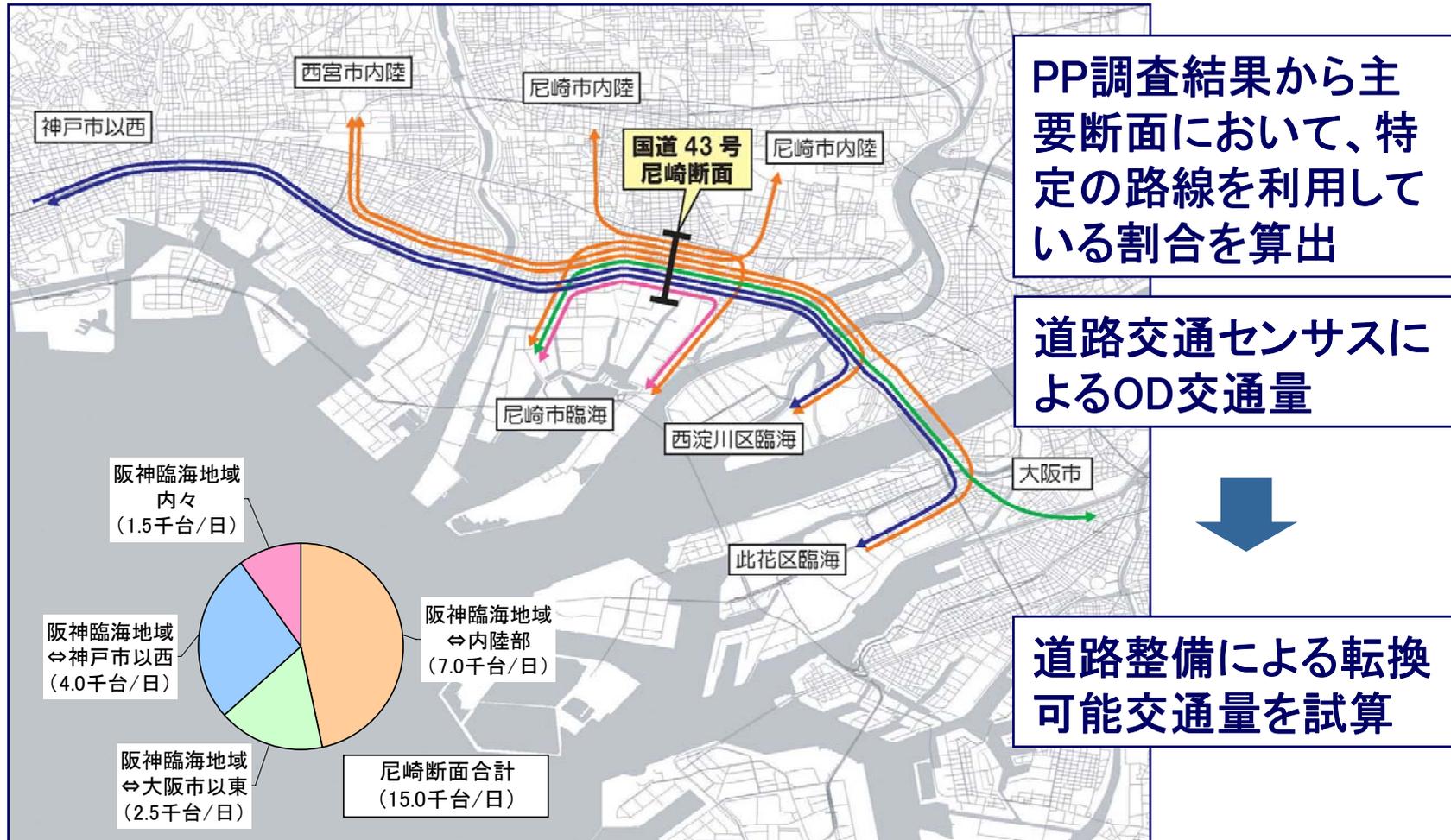


特定リンクに着目し、そのリンクを利用している発着OD領域を集計



各道路の利用特性を網羅的に把握

特定道路の利用交通の把握



貨物車を対象とした場合の特徴

モニターが勤務時間中のドライバー

事業所の管理下

・モニターとしての活動は仕事の一部

事業所がドライバーへの負担を懸念

・ビラ配布、HPでの募集ができない
・モニターは事業所からの紹介

モニターの意識多様、パソコン利用の慣れ、不慣れ

・大手の事業所では発着時に自社のシステムの操作

調査協力について担当者の判断が影響

・取得データは企業情報

対事業所の情報保護が必要

貨物交通を対象とした場合、モニターの確保や事前説明といった調査開始の前段階での課題が大きい

今後の課題

- モニターを確保、事前のモニター説明に関して苦勞した・・・



モニター確保・事前説明の効率化を図ることが必要

(各種団体を通じた強制力のある協力依頼、
代表者を集めての説明会等)

- モニター協力依頼に関して多くの企業から敬遠された・・・

- モニターがパソコン等の扱いに慣れた人とは限らない・・・



モニターの負荷軽減を図ることが必要

(目的を絞ることによるシステムの簡素化等)

- データクリーニングに労力を要する・・・



取得データの整備の効率化を図ることが必要